

○ オープンデー ～ しっかり者のリオ日学生 ～



10月6日(日)はオープンデー。就学前の子たち6人が参加してくれました。音楽講師の熊本先生がリズムの授業をしてくださり、その後、リオ日学生がグループごとに校内巡りに連れ出し、輪投げなど、いろいろな遊びを教えてくれました。



小学部2・3年生による絵本の読み聞かせ、小学部6年生と中学部2年生が家庭科で作った指人形ボリングなど、幼児たちを喜ばせることができました。

○ 総合学習 ～ ブラジルを知るために ～



10月25日(金)、総合学習でブラジルを知るための調理実習を行いました。家庭の味であるフェイジョンの作り方をセイアさんを始め他の現地職員からも聞き取り、理想の調理方法を決めました。



ブリガデーロは伝統的なチョコのお菓子です。鍋でコンデンスミルクと合わせて煮詰め、最後に形を整えてトッピングを飾ります。自分の役割を子どもたちはしっかりと果たし、美しく完成しました。



おかず少なめの白飯弁当を各自が持ち参り、フェイジョンをかけて実食しました。たまねぎとにんにくを炒めて香りを出したフェイジョンは美味しく、口当たり良いブリガデーロは、最高のデザートでした。

○ 技術家庭科 ～ 季節と共に、技を身に着ける ～



スーパーの野菜売り場で、ハローウインのカボチャが山積みされ、いくらかあり、店員さんに計ってもらうと、15レアルくらいです。



家庭科の教科書に「文化を尊重する」「行事を大切にすること」を学ぶ単元があり、技術科の木工加工で刃物を扱う授業とも関連付けることができます。



ジャックオーランタンを、小学部6年生・中学部2・3年生がそれぞれ作りました。ナイフで底を切り、種と繊維を取り出した後、マジックで描いた目・鼻・口を彫ります。防腐剤として塩水か漂白剤に漬けるのですが、リオの湿気と暑さに負け、目元からカビが・・・完成した達成感はいっしょに味わえました。

○ ようこそリオ日学へ！ よろしくね！



11月1日(金)、小路加奈さん(小3)が、リオ日学に編入学してくれました。



これまで、体験入学や商工会スポート大会を通しての仲間たちと交流してきました。ありがとうございます。明るい気持ちでいっしょに始めよう。これから生活がとても楽しみです。学び、遊び、集い、思う存分、リオ日学を楽しんでください。

○ フレンドタイム ～ほんわか心が温まる～



10月29日(火)、小学部2・3年生主催のフレンドタイムを行いました。



ハローウィン特集のクイズやゲームなど各教室のミッションをクリアして、ゴールの音楽室を目指します。

誰かに手紙を書いて！とハローウインの便せんにつづるミッションに心が温かくなりました。

○ 職場訪問 ～将来に生きる話がいっぱい～



10月28日(月)、小学部6年生と中学部がJFEスチールのオフィスに職場訪問をしました。鉄の力やブラジルの鉄鉱石と日本の製鉄の関係について学ぶことができました。



星野様より「誠実に対応して信頼されるのが一番」、帰国子女体験を通して「リオで生活する経験をお大切に」というお話が印象的でした。

< 校長面接で流す涙 >

日本は秋も深まるこの季節、中学校では、高校進学に向けた面接練習を校長室で行います。趣味はお菓子作りと答えた女子生徒に「洋ナシのコンポート」を勧めると、再婚家庭の両親に振り向いてほしくて一生懸命作り喜んでもらえたと、あとでそっと話してくれました。

これまで800人くらいの生徒と15分間の面接練習でお話をする涙を流す子が何人もいて、「初めて自分の本音を話すことができました」と打ち明けてくれます。

先日、前任校の保護者からメールをいただき、中3の息子が「小堺校長先生の面接を受けたかった」と姉に話していたそうで、理由は「緊張しても、終わったら元気になれそうだから」とありました。子どもの本当の姿を受け止めることが大切であるとあらためて感じます。